

第1回ふれあい懇談会懇談要旨

■開催日時 平成28年5月22日（日） 10時～12時

■開催場所 新木近隣センター

■参加者 68名

■市出席者 星野市長、日暮総務部長、大畑企画財政部長、四家市民生活部長、大谷建設部長、渡辺都市部長、他7人

■懇談要旨

市民：①野良猫が多くいるので増えないように避妊手術をしたいが2万円くらい掛かるので補助をお願いしたい。

②熊本地震により、被災者は避難所生活をしているが、リーダーが居てしっかりと活動しているが、誰がリーダーになるのが良いか。また、ペットと一緒にでは嫌だと言う話があり、我孫子市でも日頃からルールをつくってもらいたい。

市民生活部長：避難所でのペットのことで、被災者の皆さんは色々苦勞しているが、市では地域防災計画の中で安心して過ごせるように考えています。

市長：1) 自分が飼っている犬・猫を野良犬、野良猫として、補助を受ける方もいます。どういう補助が良いか個人ではなく団体（NPO法人）で補助をしていくなど、少し時間をいただきたい。

2) 5年前の東日本大震災の時に避難所のリーダーの存在については大きいと聞いています。その地域の自治会の方が役割を持って活動していただく。5年前は自治会の会長、役員、市役所職員が被災者になりましたので、そのような場合は、常時いられる職員と自治会の方でお願いすることになります。

ペットについても一緒に考える人もいるが、特にアレルギーを持っている人もいるので、分散して対応するのが良いと考えます。5年前は液状化になって家が沈下や傾いたりして、長期間住めない、長時間いられなくなりました。

我孫子市には活断層は無いが、茨城県南部の活断層が怖いです。また、我孫子は東京に勤務している方が多いので、帰宅困難者になりえるので、学校や保育園では、無事に子ども達を預かっているので安心してもらいたい。

その中で何が最優先にしていくか大きな課題が出てくると思います。

市民：あびバスの事をお願いとお尋ねしたいことがあります。

○新木野4丁目地先の路線を廃止することになっているが、もう一度再考をお願いしたい。

○11年前に高齢者の外室支援という目的で市民バスを運行すると大々的に調査されてルートを設定した経過がありますが、その当時の新木ルートは新木野4丁目になっていた。高齢化率は市内トップ、高齢者の数もトップ、公共交通機関で最寄駅まで800m以上、高低差14m、その時作って頂きました資料です。それで、まず路線を決めて色々対策を決めていただいたはずですが、路線ありきで考えていただいたが、今度の変更はバスありきで車両優先です。どうしてこういうことになったのか。

○新木団地ルートが残るので、そこまで歩けばよいのではないか。そこを増発するからとあるが、実際は高齢で歩けないのでバスが無くなる事ですのでそこへんの考え方を聞きたいです。

建設部長：新木野4丁目については、秋にルートを変更します。以前から住民の方にアンケートをお願いしました。要望の中で一番多いのは湖北駅に行く便を増やしていただきたい。また、1時間に1本を増やしてもらいたいでした。

今回の変更はバスありきではないかについては、現在のバスが製造中止になっています。部品も調達できません。それに変わって新バスを試走させたが一番小さいバスでも通れない状況です。それでルート改正になりました。

市長：現在5ルートを走らせている車両は現在製造をしていません。そのため新バスを走らせましたが、回れないところがあります。今製造しているバスで選択していますが、他の地域でもルート変更が出てくると思います。

市民：資料9を見て、バスをもっと小型化する。また、資料10の地図で何処が回れないのか。新木野4丁目の20番に入るところの角に電柱があるので運転が難しいのであればバスを小型化すればよいのではないか。新木団地と新木野団地の方が利用する場合は、2番、12番、21番の間に一か所か二ヶ所停留所を増やせば遠いですが新木団地の方が利用できると思います。

今回の変更は通勤者とコースの簡略化がメインで日常支援者に対しては全然

考えていない。新木地区の方は買物でマルヤやD2など生活に使用している。そのコースを短縮すると新木野地区は1箇所しか通らない。マルヤも通らないので何のためにバスを走らせているのか意味がない。また、変更後は、新木駅にエレベーターやエスカレーターができるので、駅やマルヤに停留所はできなくても京葉銀行までいってもらってバスに乗ってくださいとなっている。

交通課長：ルートについては実際に試走をしました。マルヤに行くルートを走ったが平和台病院の先の踏切でかなり危険（段差）があるので安全を考えて廃止をしました。今までは湖北駅と新木駅を分散して工程を作っていました。実際の意見としましては湖北駅に行く本数を6本から12本に増発をします。さらに、停留所も増設は可能です。新木野4丁目のルートはバスの回転範囲が4.7mから6.7mになったので通行できない箇所があります。また下新木踏切の整備をしていますので完了したら走らせると思います。

市民：10ページの資料で長太郎団地のメイン道路が廃止になっているが、この案は誰が決定したのか。また、スーパーマイコーの前から新木駅に行きたい人が非常に多い。そのルートを変えると乗る人が少ない。

我孫子市の地震計は何処にあるのか。私たちが感じる震度より低いです。

建設部長：新木駅のルート変更については、3月に新木の自治会にお示しをしました。決定は協議会の中で決定していきます。

それから、新木駅に行く方と湖北駅に行く方を比べると湖北駅に行く方のほうが10倍多いです。便数の増設等今回のルートについて作成しています。

市民生活部長：我孫子市の地震計は市役所の敷地内に設置している。これは市ではなく、気象庁が千葉県を通じて設置したもので、一市一か所です。市役所は地盤が良いので他市と比較して1程度低いですが職員は何もしていないわけではなく、市役所へ登庁して色々に対応しています。

市長：我孫子市は、昔香取の海の半島に位置していますので、市役所高野山は地盤の良い所です。地震計は市役所の敷地内に千葉県が設置してありますが、我孫子は1程度違います。職員は震度3・4でも市内を確認して対応しているので安全の確認や確保は実施しています。

市民：地震の関係ですが、気象台の時は我孫子の名前が出ていたが、気象台から気

象台公園に変わってから、我孫子の名前がマスコミに出てこない。(意見)

市民：資料5ページの公共施設年度別試算結果は学校を今後統廃合した資料か。

現在の自治会は今後少子高齢化で街路灯など維持管理ができなくなるのでは。

また、ゴミステーションを個別収集など市で直接管理にしてもらいたい。

企画課副参事：資料の5ページのグラフは、今ある物すべてを更生した場合のものです。

市長：今回は今ある施設を建替えした場合をお示しただけです。約2割建て替えできない場合は多くを占めているのは学校で小学校6校分を潰すのではない。学校6校分の面積に当る分で統廃合を含めた床面積をカットしていかないとその後の維持ができない。ただ、直ぐではなく40年の間に整理する必要がありますとお知らせしています。これから学校の建て替えも含め市営住宅も1割入っています。市営住宅も2割カットする必要があるのかということも含めて具体的にこれから一つずつ詰めていきます。前の段階で現状を説明する資料です。

当然道路や下水道、上水道は現実的にカットできない。学校の生徒が1万人から5千人になって来た時、19校要るのかという議論が必要になってきます。また、どういう建て方にしていくかひとつの課題です。学校等は10年から20年後に建替えを考えるが具体的に議論していきます。

街路灯などは大きな自治会は市の補助を利用する。市が管理する街路灯はだいたいLED化をしました。小自治会についてLEDはまだ。LED化した後は市が一括管理することで協議を進めています。

ゴミの収集場については、個別収集を実施している自治会は、市に大きな財政負担が掛かっているのも、それ以外の所に回す税金は回らないと了解した上で実施することになる。お金が掛かっても個別収集にするのか疑問です。

市民：ゴミステーションを市が直接管理するのは難しいのか。

市長：その管理運営を皆さん方をお願いして、自分たちが出したゴミだから、自分たちで管理する感覚ですが、それを市が直接関わった場合は、直接人件費を誰がどのように負担していくのか議論する必要があります。ただ、今のところ自治会でやるよという所が多いので、皆さんにステーションの管理をお願いして市の方で収集をしていく。

また、自治会への補助を無くしても市でやってくれと言う自治会も出てきています。さらに、もう少し市でやってくれた時に費用負担をだれが負担するのかという議論を一緒にしてくれるなら話に乗れます。

市民：資料14番の自主防災組織について、質問の1. 熊本地震がマグニチュード7.

6クラスの地震が我孫子で地震が起きた場合、市役所、避難所、近隣センターなどの補強は全部済んでいるのか。

質問の2. どういう災害を想定して市民が防災計画に参画し、ストックしないといけないのか。私の理解では3日分の水9ℓと6日分の食糧をストックするが、先ほど部長から我孫子は強固な地盤だから心配ないというが市民は準備しなくて良いのか。そういうことも踏まえて私の近辺では防災訓練などもあまいです。もっと真剣に訓練もしないといけないし、訓練した学校も割り振りなどもしておかないと、いざ地震の時は対応できない。

質問の3. 市民を甘やかす必要はない。けれど、市はここまでやるので市民はここまでやれと、市に期待するなど言うことで、本当に役に立つ防災訓練をやってもらいたい。

市民生活部長：避難所の耐震化は基本的に完了している。建物は倒れないが上からの落下物はあると思うので、震度7が来た時その避難所の機能をきたすかというところ、そこは来てみないとわからない。それとどのような避難を想定したかについては、どこでどのような被害が出るか分からないので、できれば各自で1週間位の食糧を確保してもらいたい。それと皆さんに一番にやってもらいたいのは安否確認をお願いしたい。避難行動要支援者名簿を来月に市で作成します。それを自治会や警察に配布しますのでこれで確認をしてもらいたい。また、避難所訓練も進めていきますので参加していただきたい。

市長：我孫子市の公共施設は保育園や庁舎、体育館は基準でISO. 66です。震度7が2回来ると大丈夫かと言うと言い切れません。一番耐震が強いのは消防署です。市役所が潰れた時は消防署が対策本部になります。また、備蓄倉庫などを造って確保している。東日本大震災の時、朝食はアルファ米で対応し昼・夜はボランティアで炊き出しをして対応しました。飲み物については上水の復旧については6日掛かりました。ガスは当日、電気は翌日に復旧しました。我々

が一番困ったことは国道356号や利根川の土手の道路、計画道路3・5・15号線の幹線道路が通行止めや一部片側通行など道路整備は人と物を運ぶためにどうしても必要です。熊本地震で分ったことは道路が壊れたりすると町が孤立するのでインフラ整備が一番大切です。

市民：湖北高校は今どうなっているのか。

市長：布佐高校と統合して我孫子東高校になった。湖北高校の校舎は、今は特別支援学校（高等部）になっています。グラウンドは半分が畑になっています。2階までは授業で使用し、3階は一部特別教室、4階は使用していませんが、湖北小学校の出土品を置かせてもらっています。

市民：文化事業の一つとして我孫子国際野外美術展について、毎年秋に2週間宮の森公園などで実施していますが、ここ2、3年で気が付いた事ですが、多目的広場での展示の幅が狭められた。また、池の近くの展示も無くなった。関係者に聞いたところ一部の方から強い反対する意見があると聞いた。野鳥の会に聞いたところ春が繁殖期であり秋は鳥に迷惑は掛からない。年一回行われる美術展について、年々小さくなっているの、ぜひ事業を大きくしてもらいたい。

市長：毎年私も時間を作って野外美術展を見ています。調整池は最近使われていない。色々課題もありますので教育委員会等に確認をして調整をさせていただきます。

市民：議員の定数削減はあるのか。

市の行政内部の目玉になることがあれば教えてほしい。

総務部長：行政改革として、市内部でどのような対応をしているのかについては、概要として持続可能な市政を実施して、財政的に厳しい中どのように財源の確保をしていくかには、人件費の削減や1,100本の事務事業の見直しとして事業仕分けを外部の支点で見直しを行っています。民間のノウハウの活用として提案型公共サービス民営化制度などに取組んでいます。人件費については、常勤職員数の削減や給与の見直しにより、確実に削減しています。

市長：行革として事業仕分けは、平成20年から我孫子市はスタートして、人件費の削減や事業の見直し、統合をさせていただいています。当然職員も100人位削減しています。事業仕分けは市民の皆さんに8年で30事業仕分けをしま

した。これ以上となると福祉を切るしかないので、今年は事業仕分けの見直しをしていく。

議員定数については24名です。削減については、議会で議論していると聞いています。何人位の削減になるのかは分かりませんが、今年の秋に議会報告会を市内3会場でタウンミーティングを開いて、議会の取り組みについて皆さんからご意見をいただくと聞いています。

市民：意見として、新木駅新駅舎は6月頃に利用できるが、住民の要望として工事終了後事務所の後に複合施設として高齢者が集まれる場、若い世代が住みやすいように託児所、銀行、郵便局の支店などが欲しい。空地を利用して文化会館はどうか。新木駅前は、まだ、有効利用できる土地がありますので考えてもらいたい。

質問として、下新木の踏切の拡幅に関して、長年の希望で今年も実施していただけるので大変ありがたいです。南新木の子ども達は、布佐南小学校と新木小学校に通っていますが、布佐南小学校の子ども達は歩道を通して通学していますので安全です。新木小学校の子ども達は上新木踏切と下新木の踏切を通して通学をしていますが、下新木踏切は356号線に出ることで拡幅を考えていますが、4丁目の上新木踏切は車1台しか通れないので近隣住民から危ないとの意見がありますので改善をお願いしたい。

建設部長：上新木踏切は区画整理区域の西側にあり、新木小学校の通学路として子ども達は356号線を通して新木小学校に通っています。道路が狭いので畑の所有者を調べて協議をしますが、市としても何かしら実施したいです。

市長：駅前の複合施設については現実難しいです。郵便局などは民間になっているので難しい。託児所は市内では認可保育園ばかりで無認可施設は病院などにありますが、無認可保育所が出来ても直ぐ撤退してしまいます。市としては公共施設は造らなくて民間で誘導して民間でお願いしたい。皆様に状況を説明しながら少しずつ検討していきます。

市民：東京オリンピックが4年後に来るので市長にお願いしたい。

①我孫子市東部地区（新木・布佐地区を中心）に総合開発を。

②新木駅南口は完成するが、北口に広場を確保する。

③气象台公園に市民会館を造る。(7階建ての総合会館)

④利根川のゆうゆう公園の再整備を。(総合開発)

⑤関連施設として、平和台病院を中心とした医療施設とマルヤなど総合開発をお願いする。

市長：新木というのは、湖北と新木をひとつの旧湖北村として思っています。ここに投資する状況を当然、我孫子地区、湖北地区、布佐地区とバランスを取りながら人口、ニーズのバランスも含めて取るべきです。

①新木駅周辺に再開発をしてくれるデベロッパーがきてくれれば良いが。皆様方の経済活動の状況によって来たり、来なかったりします。

②新木駅舎は綺麗になるが、北口の広場は昔ながらの住宅が広がっていますので、ここの用地買収はそう簡単にはいきません。一番日数が掛かりますので時間をいただきたい。

③气象台公園のあとに市民会館をつくることについて、どこにつくるのがよいか、民間を含めて投資が可能か民間に調査委託を行いました。その結果、高野山新田の水の館付近がよいとの結果がでました。また、公共施設等総合管理計画では、現存する公共施設を全て更新できないと想定しています。数字で言えば、施設全体から4万㎡を削減する方向を示しています。市民会館をつくった場合、その床面積の分を更に削減しなければなりません。既存施設の統廃合や複合施設も含めて、市民の皆様と検討していきたいと考えてます。また、7階建ての施設を造ると新木野団地の方に日照権の問題が発生しますので慎重に対応する必要があります。

④ゆうゆう公園については、河川敷にありますので、あそこに巨大な施設を造っても我孫子市は毎年台風シーズンで水没してしまうと1～2ヶ月使えませんが。

⑤平和台病院は東側の拠点病院です。西側にも拠点病院があります。医療と介護は表裏一体で急性ですと医療、慢性ですと介護になりますので連携しているのが前程で取り組みをしていきます。

東京オリンピックでは聖火リレーを走らせたい。また、併せて事前キャンプ地などとして誘致していきたいと思っていますので皆さんにも協力をお願いし

ます。